失業者らつかの間の休息

上田に「年末年始生活支援の家」開設

生活困窮者への炊き出しや生活相談、当座の住まいの提供をする「年末年始生活支援の家」が30日、上田市勤労青少年ホームに来年1月3日までの日程で開設された。リストラに遭い収入がない人、少ない年金で暮らす人など、初日は中高年を中心に10人余が訪れ、温かい食事や会話に息をついた。スタッフの中には自分も失業中という人も。新年は仕事が見つかってほしい―と切実な願いが漏れた。

「年末年始生活支援の家」の炊き出し。温かいおでんやおにぎりにはしや手が伸びた

3日まで衣食住提供

「来年は仕事を」

不況を生きる

上田市民有志や上小地区労働組合連合などの「反貧困・暮らしと雇用を守る上小ネットワーク　陽だまりネット」が中心となって運営。午前8時前から受け入れ準備をした。

正午前。駐車場の一角に設けたテントに、湯気の立つおでんやおにぎりが運ばれた。数人とテーブルに着いた同市内の男性(57)は、派遣社員として上小地方で梱包の仕事をしていた2年前、受注減などを理由にリストラされたという。

ハローワークなどで働き口を探したが、いまだに見つからない。姉から家を借り、生活費の支援も受けている。負担を掛けないよう1日1食で、冬も暖房は使わないという。「姉さんがいなかったら飢え死にしたかもしれない」。新年に願うことは「景気が良くなり、仕事が見つかる、それだけ」だ。

男性は、大根や白菜、衣服といった支援物資からジャンパーを選んで受け取り、スタッフと話し込んだ。4時間ほど過ごし、保険料を払っていないというミニバイクで会場を後にした。

夜には、近くの公園で寝泊まりしているという男女が勤労青少年ホームに泊まった。

この日、参加したスタッフは約60人。上小地方の男性(37)は昨年12月まで派遣社員として自動車部品製造会社に勤めていたが、雇い止めに。陽だまりネットに求職相談をし、食料品や日用品の支援も受けた。仕事は見つかっていないが、「自分も助けられた。年末年始の寒さの中で困っている人を助けたい」。誘われて支援の輪に加わった。

同ネット代表の1人、久保木匡介・長野大准教授は「短い期間でも、受け入れる場所があることに意義がある」と強調。外国籍市民らを念頭に、「支援が必要な人に情報を届けるのは難しい」と課題も指摘した。同ネットは宿泊者への食事作りなど夜間のボランティアを募っている。

善光寺へ

世界平和祈る法要　20日には講演

善光寺（長野市）は30日、寺事務局で記者会見を開き、チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世を来年6月、同寺に招くと正式発表した。ダライ・ラ

治的な訪問ではない」と説明。同寺事務局の若麻績信昭・寺務総長も「法王はノーベル平和賞受賞者。世界で紛争が絶えず、不況も続く中、（講演などが）大勢の人が心豊かになる機会になってほしいと招いた」と

日産640億申告漏れ

国税指摘　処分不服審査請求

日産自動車（横浜市）が東京国税局の税務調査を受け、グループ再編時の経理処理などをめぐり、2007年3月期までの3年間で約640億円の申告漏れを指摘されていたことが30日、分かった。

赤字の決算期もあり、過少申告加算税を含む追徴税額（更正処分）は数十億円とみられる。日産側は処分を不服としており、国税不服審判所に審査請求したもようだ。

関係者によると、日産は06年4月、販売網を再編し販売子会社の資産を一括管理するため、全国の連結販売子会社52社をいったん資産管理会社と販売事業会社に分割。その上で、7月に100％子会社の「日産ネットワークホールディングス」が、各資産管理会社を吸収し各販売事業会社の株式の譲渡も受けた。

この再編を行う際、資産管理会社の多くが債務超過だった